

[ホーム](#) > [困ったこと、お悩みごとと解決](#) > [病害虫ナビ](#) > [カミキリムシ\[食害性害虫\]](#)

カミキリムシ[食害性害虫]



[イチジク：クワカミキリ（被害）](#)



[ゴマダラカミキリ（成虫）](#)



[キク：キクスイカミキリ（成虫）](#)

発生時期

一年中（幼虫）、5～9月（成虫）

寄生植物

花木、庭木、果樹など多くの植物



有効な薬剤



[ビワ：ゴマダラカミキリ（幼虫）](#)



[リンゴ：ゴマダラカミキリ（被害）](#)



[モモ：ニホンキクイムシ](#)

被害症状

通称「テッポウムシ」とも呼ばれ、枝や幹の中を食害するため樹勢が著しく衰え、枝が枯れたり、樹そのものが枯れたりします。また、枯れない場合でも強風時に折れて思わぬ被害を受けることもあります。侵入口からはオガクズ状の虫糞が出ます。

生態

多くの種類があり、年1回または2年に1回の発生です。成虫は幹などに傷を付けて産卵し、ふ化した幼虫は1～2年間にわたって木質部を食害しながら成長します。甲虫類で樹木類の木質部を加害する種類はカミキリムシ以外にキクイムシもいます。被害症状も似ていて、虫糞もオガクズ状です。幹からヤニが出ていることがありますが、これらの害虫が侵入してもヤニが出ます（甲虫類以外にも鱗翅目の[コウモリガ](#)、[コスカシバ](#)なども木質部を食害します）。

防除方法

庭の中でカミキリムシの成虫を見かけたら、数ヶ所に産卵されている可能性があります。その後しばらくの間は糞の有無を注意して観察します。例外もありますが、成虫は樹勢の衰えた幹に産卵する傾向があるので、肥培管理に気を付けて樹勢を強くすることが予防になります。万一幹に穴を開けて侵入しても、樹勢が強いとヤニなどで甲虫類の幼虫は生育できません。また、枯れ枝を放置せず、樹皮の荒れている枝などは剪定時に優先的に取り除きます。薬剤ではスミチオン乳剤などを定期的に散布してカミキリムシが卵を産みつけられないよう予防します。食害された場合、糞の出ている所が侵入口なので糞を取り除き、針金などでつついて、中の幼虫をほじくり出すなどの方法もあるようですが、食害されると薬剤での防除は難しくなります。

豆知識

カミキリムシは樹木だけでなく草花を加害する種類もいます。キクでは5～6月頃に伸びた茎の先端が萎れて垂れ下がるのはキクスイカミキリの被害です。成虫の体長は7～8mm前後の小さいカミキリムシで、茎内で成虫になりそのまま越冬します。垂れ下がった茎は切り取って処分します。

有効な薬剤

注意：以下に記載のある薬剤について、作物ごとに使える薬剤が異なります。各薬剤の解説ページにある「対象作物」に目的の作物が含まれていることをご確認ください。また、使用に際しては必ず商品の説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

商品名	剤型	商品の特長
園芸用キンチョールE	 エアゾール剤	カミキリムシの幼虫退治に
スミチオン乳剤	 乳剤	花や庭木類の代表的殺虫剤
ベニカマツケア	 液剤	松枯れ原因の松食い虫を2カ月間防除。「樹木類のケムシ類」登録殺虫剤！
ベニカ水溶剤	 水溶剤	野菜・果樹・花など幅広い植物に使用できます。アブラムシの殺虫持続効果アップ。家庭菜園や果樹のカメムシにも効く！
ベニカベジフルスプレー	 スプレー剤	野菜と果樹の害虫退治に

